

「探究」が深まる条件とは

◆はじめに

- ・本日の授業より

◆「探究」とは

単に、4つの段階（課題設定→情報収集→整理分析→まとめ表現）のサイクルを回すことではない。4つの段階は探究活動を構想するときの目安にはなる。

あくまで子供の思考ありきの学習過程を構想・実践

振り返りの大切さ

「探究」の原動力は・・・

◆「学びに向かう力」:

（生活科）自らの思いや願いをもち、仲間とともに、その実現に向けて、チャレンジする態度

（総合）互いの考えを聞き合い、仲間とともに問いを立て、他者（仲間・地域の方々）と協働しながら課題を解決し、社会に参画していこうとする態度

- ・問いを立てる → 主体性、自分事になる
- ・互いの考えを聞き合い → 異なる意見や他者の考えを受け容れる、多様性の尊重
- ・仲間や地域の方々と協働 → 互いの特徴を生かす、自分のよさを生かす、
多様性を生かす
- ・課題を解決する → 次なる課題がみえてくる、課題の連続性
- ・社会に参画する → 学びを学習や生活に生かす、未来につなぐ

◆「学びに向かう力」を生み出すもの

意 欲：探究意欲、プレゼン意欲・・・・・・→ 自信が必要

自 信：自身の学びへの満足感、達成感等 → 振り返りの場が必要

主体性、独創性を発揮し失敗からも学ぶ

自分で目標を決め、優先順位を自分で考え計画を立て振り返りにより進捗状況を管理する。

達成感等：疑問、ハードル、迷いが生じるような授業場面の構成が必要

◆キーワードは「つなぐ」「つながる」「つなげる」

- ・「聴いて 考えて つなげる」授業では、小学校低学年から、学び合うための汎用性のある技能の習得が必要となる（横浜国立大学 高木展郎氏）。

子どもは自らの学びを「つなぐ」、教師はそれぞれの子どもの学びを「つなげる」

- ・仲間や地域の方々と「つながる」→ 集団帰属意識、社会貢献意識、
愛着、誇り ← 学びに向かう力

- ・自身の成長に「つなぐ」 → 将来にわたりよりよく生きようとする姿勢
→ 豊かな人間性の育成